

筑波大学に「Invictus athlete Performance Center」が完成

— スポーツ科学とアナリティクスを融合した、すべてのアスリートの成長を支援する場 —

関彰商事株式会社(本社:茨城県つくば市、代表取締役社長:関 正樹)と国立大学法人筑波大学は、野球・ソフトボールを中心としたアスリートの競技力向上を目的として筑波大学南地区に新設する新施設、「Invictus athlete Performance Center(IPC)」の竣工式を、2025年9月22日に執り行いました。

IPCは、最先端のスポーツアナリティクス機器を備え、選手の動作を科学的に解析し、データに基づいた指導を実現する国内有数の施設です。スポーツの知の拠点として、学内での利用やアスリートのパフォーマンス改善、更に地域への貢献など様々な活用が期待されます。

【施設の特徴】

・充実した設備

延床面積約1,700㎡。室内練習場、ブルペン、打撃練習場、ウェイトトレーニングエリア、オフィス棟を備え、全天候型でのトレーニングが可能です。

・最先端の解析機器

動作解析カメラ、投球・打撃のパフォーマンス測定装置などを導入。スポーツ科学とアナリティクスを融合させ、競技力の可視化を可能にします。

・タイムシェア方式の運営

平日昼間は筑波大学の授業や部活動に活用し、夜間・週末には地域や一般向けにスクールやパフォーマンス分析プログラムを提供します。大学関係者・地域社会双方に開かれた施設運営を実現します。

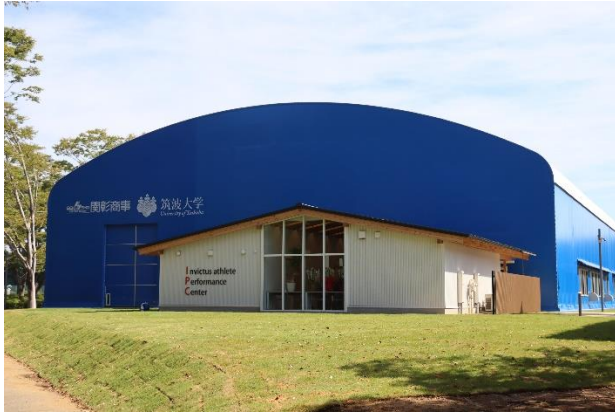
【施設名の由来】

「Invictus(インヴィクタス)」は、ラテン語で「無敵」「逆境に打ち勝つ」という意味を持ちます。すべてのアスリートが困難を乗り越え、自らの可能性を切り拓く場であってほしいという願いを込めています。

【今後の展開】

・2025年10月1日より、野球スクールを開講。技術指導のみならず、運動能力向上プログラムや段位認定制度を導入し、「うまくなった！を実感できる」スクールを目指します。

・開所記念イベントや地域交流事業を順次実施し、地域のスポーツ文化の発展にも貢献してまいります。



担当:筑波大学体育スポーツ局

e-mail:kuroiwa.naoyuki.gf@un.tsukuba.ac.jp